

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	人々が互いに支えあい、互いに尊敬しあい、住み慣れたわが家やわが町で、自分らしい生活がいつまでも続けられることを理念とする	○	地域の人々が今以上にグループホームに来て頂けるように働きかけていきたい
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常生活が理念に沿っているか、申し送りやミーティングで確認し、共有している		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会や運営推進会議で地域の中で住み続けることの大切さを話し合っている	○	地域との交流を更に深めたい
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣接に保育、学童クラブ、地域サロン、親子あつたか広場などがあり、多世代の人との関わりが持てるように努めている	○	隣近所の人と気軽に会話ができる場面を多くつくり、グループホームに気軽に立ち寄れる雰囲気作りをしたい
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の一員として地域サロンに参加、当事業所のあつたかサロンにも参加してもらっている。地域の行事はお互いに双方向に参加交流し合っている	○	運営推進会議で計画していきたい
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	自治会単位で認知症の研修会を持ち、隣近所でお互いにサポート出来る事例など出し合いながら、認知症になっても普通に暮らせるように話し合っている	○	認知症の初期対応の相談「今迄とは違う状態はありませんか」のパンフレットを作成し、自治会回覧板にて回覧し話が聞けるようにしたい
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者は勿論、全介護職員が参加し、スタッフ研修会で改善につなげている		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年も外部評価をもとに、当事業所の取り組みを話し、理解を得て今後のサービスの向上にいかしている		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進委員会はもとより、認知症の研修会、徘徊者の模擬訓練、福祉と医療の連携など、共に課題解決に努めている	○	安心して住み続ける為の方策など提案し、協働していきたい
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者の中に後見人制度を利用されている方もあり、関係者(独居社協血縁で無い親戚後見人)そして当事業所が話し合い、研修や情報を受けながら支援している		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は人権侵害であり、あってはならない事だと全職員が認識しており、確認している		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	サービスを始めるに当たり、利用者や家族によく説明をしている。見学や体験もあり、初めは仮入居として2週間経過して頂き問題が無ければ入居してもらいます		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が直接意見を言い表す事が困難なので、言動や表情から思いを汲み取り、その環境を整えるよう努力している		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者に変化があった時は、その都度報告している。又暮らしぶりについては家族の訪問時に話している		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書に記載している苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置し、家族が意見を表しやすい様になっている。勿論苦情箱も置き、内容については話し合っている		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングに参加し、現状を把握する機会があり、意見交換をしている		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者さんが重篤な病状になった時など、職員の増員の確保や、家族さんに付添ってもらう様に働きかけている		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動は無いが病気が1人、ケアマネ資格を取得し、ケアマネ事業者へ就職のため離職されたが、新職員(知人)が馴染んでくれた		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の受講希望内容の確認をおこない、外部での研修に参加している	○	管理者や職員が、習得すべき知識や技能を身につける様働きかける
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者がグループホーム部会に参加し、毎回テーマを変えて話しあっている又、ケアマネージャの事例検討会に参加し、交流、勉強会をしている		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	介護員のリフレッシュを図ると共に今年度は浴室のリホーム、ベランダ及びスロープを設置した		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	昇給や賞与を出せるように努力している {今年度は加算や処遇改善交付金もありました)。又地域に向けて、職員の質の良さを話している	○	運営者は個々の職員と5分間のミーティングを持ち続けたい
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居に至るまでにお試し期間があり、その間本人から不安な事、困っていることについて話を聴いている		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家庭訪問や面談で家族の意向を聴く機会をつくり、不安な事、求めている事を、受けとめる努力をしている		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の話を聴き、以前お住まいの地域の方の協力を得ながら、必要とする支援に努めている		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が、安心して居ごち良く生活できるかどうか、本人の意思を尊重し、お話し期間を設けている(2週間)		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として、教えられる事は多く、様々な生活の場面で感謝し、認め合う事で、自信の回復をはかっている。共感する事を大切にしている		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員だけでなく、家族と共に本人を支え、喜怒哀楽を共にしている		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人が入居されることで家族はゆとりができ、本人の良い所も思い出され、イベント等の行事に、家族の参加を求めることで、本人との交流がより良いものになって		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	同じ地域からの入居者が多く、親戚や知 人の訪問者も多い		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	利用者さん同志の相性や関係を職員が 把握していて、孤立せず良い関係がも て、支え合えるように努めている	○	重度化しつつある中、全入居者対象に 力を注ぎたい
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設に移られた利用者さんに面会に 行っている		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	全員にセンター方式アセスメントを行い、本人との話や家族からの些細な情報も大切にしている		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	把握に努め、ケアプランに活かしている		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送りや日常の経過記録を通して、把握している		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
<b>Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを基本に、居心地の良い生活が送れるよう、様々な情報(記録など)を元に作成している		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回のモニターリングを実施している、利用者さんに変化が生じた場合は、現状に即した新たな計画を作成している		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を元に、現状を把握し、ミーティングで職員全体で改善出来る様話し合いを行っている(個々の気づきをポスティングで集めている)		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	保育園や学童クラブ、高齢者サロンが併設されており、子ども大好きな利用者が行き来している		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員やボランティアの来訪がある。防災時については緊急時の連絡網の設置が有効であり、協力をえている		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人にとって、よりよい暮らしが実現出来るよう、他の機関とも相談しながら支援している、特に福祉機具の使用や訪問リハ、住宅改修を行っている		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	家族が居られない為に後見人をたてておられ、家族の代理として当事業者とのかわり方を、センターと協働している		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携医は、本人や家族、事業所とも信頼関係もあつく、適切な医療を受けている、が入居以前からかかりつけ医がある場合は、関係を継続されている		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	連携医があり、診療やアドバイスをうけている(看護師が同行する場合もある)		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	非常勤の看護職がおり、入居者の健康管理の把握の他、いつでも気軽に相談出来る		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	運営者や管理者、職員は常に状態の把握に努め、不安を取り除き、病院関係者との連携をはかっている		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化しないよう予防の観点は大切だが、事前に意思を確認したり、早めの対応は不可欠である。重度化に移行していく中で、本人、家族、医師、運営者の話し合いが続く		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者さんを1人ホームで看取りました。医師のアドバイスが介護者を勇気づけ、看護師、家族と共に目指した目標を今後に生かしたいと計画しています	○	重度化した利用者さんの問題だけでなく、事業者として、家族会で話し合っていきたい
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今迄使っていた物、身近なもの、馴染みの物等、生活習慣等が継続できるようにアドバイスをしている		
地域資源との協働 10項目中 10項目					




自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	一人ひとり人間としての尊厳を大切にされた言葉かけや対応をしている。記録などは他から見えない様に配慮している		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	「どうですか」、「どちらにされますか」と本人に決定してもらう問いかけをしながら、本人の希望を表せるように働きかけている		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に支援しているが、それが得られない時は行動やしぐさで職員が判断、実行している場合もある	○	日々のその人らしい暮らしを実現するために、ボランティアや家族さんの協力を得ながら、利用者さんの希望にそって暮らせるように支援していきたい
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族さんがおしゃれな服を持って来られ、気に入った服でお出かけです。又家族さんと美容院にも行かれます		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	介護度軽度の方が少なくなり、限られた利用者さんに食事の準備が偏りがちになっているが、食事内容によっては、多くの方に準備をしてもらう事もある		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	体重が増えてきたため、減量に努めていますが、難しいです。お菓子ではなく果物やお茶で、少しはお菓子も		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人の様子や習慣を観て一人ひとりに合わせて気持ちよく排泄できるように支援している(パットやリハパンを使用せずトイレ誘導で)		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	狭い浴室を改装し、床暖がはいり広めでゆったりとした空間で楽しんでおられます。利用者さんも3人の介護者が必要な方もおられ、スペースもあり安心して入		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣に合わせて、自室で昼寝をされたり、一人の時間を持たれたり、できるように支援している		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	開所当時に比べると重度の方、活発で軽度の方がおられる中で、外出の機会や楽しみごとが少なくなってきたが、スロープの設置により車椅子での外出も可能にな		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者それぞれのお財布があり、自由に買い物が出来る用意はしている		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候の良い日は、庭にでたり、近所に散歩したりするが、軽度の方、又自分の意思が伝えられる方にかたよってしまう		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別には音楽会や花見などがあるが、全員では葡萄がり位で特定の利用者さんを除くと近場での外出になっている	○	家族のサポートが得られるので機会を作りたい
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	数名の方は電話で対応されたり、手紙の返事を書き、ご家族とのつながりを大切にされている	○	自分で書くことが出来る方には、その機会を作っていく
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や友達など来られた時は、本人の居室に案内をし、くつろいで話が出るようにしている。訪問はいつでも可能である		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は問題外であると、全職員が認識しており、全くない		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけていないが、夜は当然の事鍵をかけている		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	活動的で出て行かれる利用者さんには、セコムを着用してもらっている。他の利用者さんの所在や様子も把握している		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	手洗いの石鹸を口にされる事があったのでポンプ式にしり、包丁などは見えない所に保管している。習癖性のある方もあり保管場所を決めている		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のマニュアルを作成し見やすい所に置いている。ヒヤリハット等を通じて、全員に周知し、防止に向けて取り組んでいる		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事故発生時のマニュアルは整備されている定期的ではないが、訓練はしている。隣の学童にAEDを設置した	○	AEDの使い方をマスターしたい
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は昼のみであったが夜も想定して月に1回している、又火災報知機および火災通報装置を設置した。自治会の防災訓練にも参加し3人の協力もえている(夜の場合)	○	事業者を中心に、近所を巻き込んで訓練をしてみたい
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	来所時に日頃の様子やリスク等を話し、共有している。その中でも可能な限り普通の暮らしをができるようにサポートする		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送り、又連絡ノート等を活用し、全ての職員が情報を速やかに共有できるように努めている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のケース記録に薬の資料を添付、職員は常に確認出きるようになっている。薬の管理は看護師がしている		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防の為にヨーグルトや牛乳、果物、さつまいもなど食べてもらっている。簡単な体操や月1回に機能訓練士にリハビリの指導をしてもらっている		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	うがいや歯磨きができる方は歯磨きをしてもらっている。うがいや歯磨きの困難な人は吸入ブラシを購入し、使用している		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量をチェックして記入、不足の方は補給をしている		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	玄関に消毒液(ポンプ式)の設置をしている。手洗い、うがいをしている。当然ながらマニュアルがある		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	安全な食材の管理、調理用具の熱湯処理、ふきんなどの煮沸消毒をおこなっている		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	庭には果物(みかん、キウイ、ブルーベリー、山桃、洋ナシ、桃、さくらんぼなど)の木が沢山あり、親しみやすく普通の家である		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、季節の花や絵があり、外からの風とうしも良く、居心地良く過ごせる		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでテレビをみたり、庭のベンチに出たり、自室で気の合う方同士で、談話されたりしている		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や持ち物等には制限はなく、自由に持ち込める。こたつがある居室、使い慣れたタンスがある居室など一人ひとり全く違う個性のある居室になっている		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	その日の気候、温度により、職員が配慮し、その都度調節している		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	重度化に伴い車椅子の使用、浴室の改造やトイレの手すりの設置、歩行困難な方は歩行機を使用されながら機能を生かされている		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室の前には本人の名前と写真をかけ、自分で作られたカレンダーを毎月張り替えている。トイレの前に「便所」と書いた札を下げている		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭でくつろげるテーブルや椅子、ベランダもあり、歓談されている。又毎日の洗濯物を干したり、取り入れたり活動の場がある。みかん狩りをしたり、お茶を楽しんで		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
	項 目	取 り 組 み の 成 果 14 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

学童、高齢者あったかサロン、親子デイ、保育とグループホーム、昔の長屋を連想するような建物と子どもとの関わりがあり、大家族のように交わり接する。小さい子をだいてあやしているその表情は生き活きとされている。地域の住民が出入りされて、交流の場でもあり共に行事などに参加して、触れ合う機会も多く日々の暮らしの中で人々が支えあっている。

## 評価結果整理表

個別表	□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	
<b>IV－1. その人らしい暮らしの支援</b>	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7
<b>IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3
<b>総合評価</b>	
I 理念に基づく運営 ( <input checked="" type="checkbox"/> 項目／5項目)について	



安心して住み続けられる理念の元で地域住民と共に実践している

Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (  項目 / 2項目 ) について

利用者(入居者)、家族、職員、運営者共々信頼関係をきづきながら、心地良い生活の場づくりをしている

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (  項目 / 4項目 ) について

アセスメントを元に、職員全員でケアプランを立て、モニタリングを繰り返しながら、安心して、居心地良く暮らし続けられる様に配慮している

Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (  項目 / 7項目 ) について

その人らしい暮らしとは、今迄の生活の歴史であり、スタイルです。一人だけの生活でなく、9人のスタイルを大事に、尊重しながら生活しています

Ⅴ サービスの成果に関する項目について

グループホームの隣に保育、学童クラブ、地域サロンが併設している。地域の方や子どもとの触れ合いが、入居者の笑顔や生き生きとした表情を引出している。子どもの存在はとても大きく、この利点を更に活かしたい。血縁関係はないが、兄弟、子ども、孫、ひ孫と家族構成があり、穏やかな良い表情で、時間がゆっくり流れている

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日：2009年11月1日

前回評価年月日：2008年11月1日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
5	1	運営推進委員会の推進	2009.11月 ～2010.10 月	委員さんと相談しながら積極的に取り組む	人の関わりも深まり、地域の課題に挑 家族の方針に添える様に したい	
19	2	重度化や終末期に向けた 方針の共有	2009.11月 ～2010.10 月	本人、家族、医師、 運営者での話し合い		
		〃		終末期のケアの研修		